

東住吉区を知る—大和川—

区の南側を西へと向かう大和川の流れは、およそ300年ほど前の工事によって付け替えられたものです。かつては大阪城の北側で淀川に合流していましたが、川筋はたびたび洪水に襲われていました。流域に位置する村の庄屋である中甚兵衛が、長年幕府や奉行所に付け替え工事を陳情。1704(宝永 元)年に工事は完成しました。その後大和川的环境は、昭和30年代後半から悪化の一途をたどりましたが、近年は水質も大幅に改善され、大和川の再生を目指す取り組みが行われています。

『大和川の歴史 -土地に刻まれた記憶-』

安村俊史著 清文堂出版 2020  0014850274



『甚兵衛と大和川—北から西への改流・300年—』

中九兵衛著 中九兵衛 2004 * 0010702636


『甚兵衛と大和川—ジュニア版—』

中九兵衛著 中九兵衛 2007 * 0011472486 


『わたしたちの大和川』『わたしたちの大和川』研究会監修・編集「わたしたちの大和川」研究会 1999


* 0000785958 


『大和川の自然』大阪市立自然史博物館編著 東海大学出版会 2007 * 0011449901


『流域歳時記・甚兵衛と大和川—この日何の日—』中九兵衛著 中九兵衛 2011 * 0012267517

この調べかたガイドでは、東住吉区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

 大阪市立図書館の「書誌 ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

東住吉図書館に所蔵しているものは、 の前に * をつけて表示しています。(* の無いものも取り寄せできます。)

小学生から読めるものは ID 番号の後に  オムリンマークをつけています。

 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド: 各区版

東住吉区の調べかた

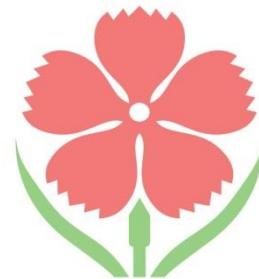
東住吉区の史跡・名勝・建築

—長居公園—

東住吉区の人物・伝説—開高健—

東住吉区の民俗・文化—田辺大根—

東住吉区を知る—大和川—



東住吉区の花: なでしこ



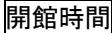
東住吉区
マスコットキャラクター
「なっぴー」

大阪市立東住吉図書館

〒546-0032 大阪市東住吉区東田辺2-11-28

TEL 06-6699-7000


<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

 開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

 休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

東住吉区の調べかた

Ver. 3 2023. 10改訂

東住吉区の史跡・名勝・建築—長居公園—

陸上競技場をはじめ、さまざまなスポーツ施設、植物園、また自然史博物館と、設備が充実した公園は市民に広く親しまれています。Jリーグのサッカーチーム、セレッソ大阪のホームスタジアムとしても有名です。昭和のはじめ、都市計画事業によって設置が計画され、戦後になって、運動公園として整備されていきました。昭和20年代から30年代には、競馬場や競輪場も設けられていました。1997年になみはや国体、2002年に日韓サッカーワールドカップ大会、2007年には世界陸上の開催など、スポーツ大会が盛んに開催されています。東住吉区役所のホームページの「まちづくり」内、「まち歩き・歴史講座」には、「東住吉100物語」のページがあり、区内の史跡や、また産業などさまざまな話題を画像を盛り込みわかりやすく紹介しています。長居公園も、現在とかつての写真が紹介されています。

『東住吉区史—現東住吉区・平野区—』

川端直正編 市民日報社 1987

*ID 0000253226


『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂 1986

*ID 0000214926

『ひがしすみよし今昔写真集—東住吉区創設 50 周年記念—』東住吉区創設 50 周年記念事業委員会 1993

*ID 0000336423

『東住吉区「まちの魅力探索ブック」—東住吉区の楽しみかた—』大阪市東住吉区役所 2002

*ID 0010304019 

大阪市東住吉区:051長居公園

<https://www.city.osaka.lg.jp/higashisumiyoshi/page/0000033869.html>

東住吉区の人物・伝説—開高健—

作家、開高健(1930~1989)は大阪で生まれ育ちました。少年期から青年期にかけて、東住吉区で過ごしています。区内の近鉄北田辺駅前には、2005年に記念の文学碑が建てられました。コピーライターとしても多くの名文句を生み出し、多芸多才な作家として知られています。文壇に登場後は数々の話題作を発表し、1958年『裸の王様』で第38回芥川賞を受賞しました。海外取材も数多く、新聞社の特派員として戦時下のベトナムなどを訪れています。後年は料理と釣魚にまつわる作品も注目を集めました。東住吉図書館では、「開高健コーナー」を設け、彼の著作をはじめとした様々な出版物を収集しています。

『開高健 -生きた、書いた、ぶつかった!-』小玉武著 筑摩書房 2017

*ID 0014279421

『大阪で生まれた開高健』難波利三著 たる出版 2011

*ID 0012245658

『開高健:増補新版 -生誕 85 周年記念総特集-』

河出書房新社 2015

*ID 0013542110

『北田辺開高健文学碑建立記念 -2005 年 11 月 5 日 建立-』開高健文学碑建立実行委員会 2006

*ID 0011185625

『開高健の名言』谷沢永一著 ロングセラーズ 2015

*ID 0013561628

『開高健—Portrait de Kaiko—』開高健記念会 2004

*ID 0011194887

『開高健がいた。』コロナ・ブックス編集部編 平凡社 2003 *ID 0010515134

東住吉区の民俗・文化—田辺大根—

「なにわ伝統野菜」の一つである田辺大根は、かつては田辺地区の特産品でした。昭和初期まで、田辺地区は農村地帯でした。田辺大根は白首の大根で、長さは約20センチメートル、太さは約9センチメートルほど。丸みをおびたずんぐりとした形です。生だと刺激的な辛みがありますが、加熱すると辛みが消え、甘くなります。約400年前から栽培されていたとされ、全国的にも有名な農産物でしたが、昭和初期ごろから生産は衰退していきました。しかし近年、まちづくりを考える地域の人々の努力で栽培が復活し、広めようとする活動がすすめられています。

『なにわの伝統野菜』大阪府立農林技術センター 2001

*ID 0010165446

『なにわ大阪の伝統野菜』なにわ特産物食文化研究会編著 農山漁村文化協会 2002

*ID 0010259040

『大阪春秋 111 号 おおさかの伝統野菜』

大阪春秋社 2003

*ID 0010554329

『大阪人(OSAKA-JIN) 2011 年 3 月 伝統野菜』

大阪市都市工学情報センター 2011

*ID 5112230556

『田辺大根レシピ集—なにわの伝統野菜—vol.2』

東住吉区役所区民企画課 2016 

*ID 0014228627

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「東住吉区」『田辺大根について』

